

～飛騨市民カレッジ開催レポート 第6号～

2021年12月17日(飛騨市民カレッジ Facebook ページより)

【第5回目スパイス講座が実施されました】

12/17(金)19:00~20:30で2021年最後の講座「過去から学ぶ感染症 コレラとスペイン風邪の流行」を開講しました！講師は、飛騨市歴史調査室職員 本永 義博さんです！

今回の講座では、ここ2年間毎日のように見聞きする「感染症」「パンデミック」について、飛騨の歴史から紐解いていきました。コレラがどうして流行したのか？どんなふうに関川までウィルスがやってきたか、またスペイン風邪の対策は今の新型コロナウイルスと似てる！？関川祭は、昔は秋祭りだったけどパンデミックによって今の春祭りになった！？などなど、スライドとレジュメや、昔の感染予防呼びかけるポスターなどから学んでいきました。



質問では、「スペイン風邪の由来」や「過去の感染症から見たときにコロナのパンデミックはいつまで続くのか？」など、本永さんのお話をさらに探究するような質問が出てきました！

今回は、他の講座と比べてご年配の皆さまに多くご参加いただき、まさに市民カレッジの合言葉である「学びに卒業なんてない！」を体現されているみなさまと学ぶことができました。

2021年の講座は、今回で最後でした！年明けると、今年度の市民カレッジ講座も残すところ3本！次回は、1/23です！